

# 病害虫発生予察注意報第1号

病害虫名：トマト黄化葉巻病 (TYLCV)

**1 発生予想** 今後トマト黄化葉巻病が南信地域以外にも、発生が拡大する恐れがある

**2 対象地域** 全県のトマト、ミニトマト、およびトルコギキョウ施設栽培

## 3 根拠

- (1) 昨年12月から本年3月にかけて県下のトマト、ミニトマト、およびトルコギキョウを栽培する25施設においてトマト黄化葉巻病およびタバコナジラミの発生調査を行なったところ、南信地域の複数の施設で確認された。
- (2) 病原ウイルス (TYLCV) は、タバコナジラミによって媒介されるため、今後気温の上昇とともに南信地域以外でも発生が拡大する恐れがある。

## 4 防除対策と留意点

- (1) 苗の導入に際しては、ウイルス感染やタバコナジラミの発生がないものとする。
- (2) 施設栽培は開口部に0.4mm以下の目合いの防虫ネットを張り、開放状態にしない。また、光反射マルチ資材等を設置し、媒介虫の侵入を防ぐ。
- (3) 施設、ほ場の内外に黄色粘着板や黄色粘着テープを設置し成虫の早期発見と捕殺を行う。
- (4) 施設内やほ場周辺の雑草や野良生えトマトは、タバコナジラミの発生源となるので、除草剤の散布や抜取り等を行い適切に処分する。
- (5) トマト黄化葉巻病に似た症状を発見したら、直ちに株を抜根してビニール袋等に入れ密封し(40℃、10日以上)、完全に枯死させる。その後、残渣は土中に埋却するか、焼却する。また、最寄りの農業農村支援センターまたは病害虫防除所へ連絡する。

## 5 参考 (タバコナジラミ(バイオタイプQ)について)

- (1) 詳細は地区注意報(令和3年10月29日付病害虫発生予察地区報第2号)を参照する。



図1 TYLCV 感染株



図2 タバココナジラミ成虫



図3 タバココナジラミ幼虫



図4 オンシツコナジラミ幼虫



図5 タバココナジラミの抜殻



図6 オンシツコナジラミの抜殻

長野県病虫害防除所 中南信担当  
鈴木 正幸 (所長) 水谷 俊英 (担当)  
TEL : 0263-53-5642 FAX : 0263-54-4508  
E-mail bojo-y@pref.nagano.lg.jp